

消防だより

令和7年(2025年)
5月末現在の出動件数

有田川町消防本部 ☎52・5950
吉備金屋消防署 ☎52・5950
清水消防署 ☎25・1243

火災 : 9件
救急 : 588件
救助 : 15件

令和7年度全国統一防火標語 「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」

台風に備えましょう

近年、線状降水帯や台風の上陸により、各地で土砂災害や河川の氾濫などの大きな被害が発生しています。台風などによる被害を軽減するために、日頃から備えておきましょう。

●事前の対策

- ・窓や雨戸には鍵を掛け、必要に応じて補強する。
- ・風で飛ばされる恐れのあるものは、屋内に取り込む。
- ・停電や断水が発生する恐れがあるため、スマートフォンを充電し、飲料水を準備しておく。
- ・事前に食料の買い出しを行い、カセットコンロなどの熱源を準備しておく。
- ・最新の台風情報を確認し、事前準備を確実にし、被害を最小限に抑えましょう。

おもちゃ花火を安全に使用して楽しい夏を！

夏といえば花火。スーパードンブリなどで「おもちゃ花火」をよく見かけるとあります。夏の風物詩の一つでもある花火ですが、取り扱いを誤ればとても危険です。花火に書いてある遊び方をよく読み、ルールを守って、楽しい夏の思い出にしましょう。

●おもちゃ花火の遊び方

- ・適切な場所と時間で遊ぶ。
- ・花火を人や家に向けたり、燃えやすい物の近くで遊んだりしない。
- ・服に火が付かないように気を付ける。
- ・たくさんのお花火に一度に火を付けない。
- ・遊び終わった花火は、水の入ったバケツへ入れて消火する。
- ・子どもだけで遊ばせない。

水難事故に注意

夏は多くの人が水辺のレジャーを楽しむ季節です。一方で、毎年多くの「水の事故」が起きていることを忘れてはいけません。

●水難事故防止のポイント

・体調が優れないときや飲酒後は泳がない。

・泳ぐときは準備運動を必ず行い、定期的に休憩を取る。

・「立入禁止」「遊泳禁止」の表示がある場所には絶対に近づかない。

・子どもからは絶対に目を離さない。

・子どもには、ライフジャケットを着用させる。

●こんなときはすぐ避難

・川の上流に黒い雲が発生したとき。

・雷が聞こえたとき。

・川が急に濁ったり、流木などが流れてきたりしたとき。

・人が溺れているのを見つけたときは、絶対に慌てて飛び込まないでください。訓練を受けていない人が、溺れている人を助けるのは困難です。すぐに周りの人に伝え、119番通報し、浮き輪などの浮力のあるものを投げ入れて救助を待ちましょう。

病院の案内

「救急車を利用するほどではないけど、受診できる病院がわからない」という方に、受診可能な医療機関を案内しています。

●和歌山医療情報ネット

スマートフォンやパソコンなどで「わかやま医療情報ネット」と検索する。

●救急医療情報センター ☎ 073-426-1199 (24時間対応)

●子ども救急相談ダイヤル(平日19時～翌朝9時、土日祝9時～翌朝9時)

☎ # 8000(プッシュ回線・携帯電話) ☎ 073-431-8000(ダイヤル回線・IP電話)

